

# 佐白温泉建設、県の支援は農産加工施設で最高900万円と町長の考え（1億円）とは、大きな違いがあるのでは？

## 町長 知事と私で最終決着させる話と思っています



**問** 佐白温泉施設建設について、3月議会から連続3回目の質問。6月議会では、温泉施設建設の文書化された地元要望を問うたが、提出されたものには、何も書かれていない。何をもちって地元要望とするのか。

**答** 尾原ダム周辺対策事業として、ダム湖利用者の受け皿施設、また周辺地域の活性化施設として町が進めるもの。平成19年8月以降、表現が揺れ動いたが地元での合意形成を受け、県へ要望。地元自治会内の前向きな取り組みもお願いしています。

**問** 県への要望書にもその文言は、入っていない。

温泉事情が良くない状況下、建設後の維持管理がとて大変になる。収支計画も全く示されてなく、住民の皆さんからは、赤字経営の不安が大きい。収支計画は、どうなっているのか。

**答** 運営は、地元やNPOに任ず構想です。将来的に町の財政負担が少なくて済むよう、地元の方にはお願いしたい。収支計画は、23年度、24年度予算の中で詳細を明らかにし、財政支援も議会審議いただくものは示しません。

**問** 過疎債の適用は、県国とも原則採算が取れることが最重視と。県は、工事全体の過疎債適用に許可をしたのか。

**答** 全額過疎債適用で、今協議を進めています。

採算よりも完成後の事業効果について、チェックは当然かかると思っています。

**問** 6月議会の答弁でダム関連として県の認定が受られれば、過疎債の町負担分の1億5千万円の内、1億円の支援を要望するとされたが、県は了承したのか。

**答** 現状では、まだ不確定。県が地元支援に手を抜いてきた経緯があるようで、できる限り多くの支援が受けられるよう努力します。

**問** 県へ伺った時、ダム関連での本町の22年度事業では、農産加工施設で県の財政支援は、最高900万円だと。町長が考えている金額とは、大きな違いがあるのでは。

**答** 最終的には、知事と町長の私で最終決着させたい。



泉質の良さが評判のヴィラ船通山（斐乃上荘）新設よりここの充実を

る話とと思っています。

**問** 住民の皆さんからは、「5億円も使ってなぜ温泉なのか。お金や交通手段がなくて、病院にもいけない人がいる。もっと生活に密着したものにしたい」と。こういう事に財政支援をすべきではないか。

**答** 町民サービスの充実にしっかりと目を向け、意見として参考にします。

**問** 住民の皆さんの心配は、温泉経営が成り立っていくかということ。

**答** 本町には、泉質の良い斐乃上荘がありここを充実させたがよいと。住民意向を、キチンと把握することが大事では。

**問** これは、ダムで大きな犠牲を払われた地域の活性化のための事業。ヴィラ船通山（斐乃上荘）を充実させればよいという話ではなく、住民の皆さんのご理解をいただきたい。

**問** NPO法人について加入要請は、自治会を通して行われているようだが、任意か強制か。また、加入者へのボランティア活動への説明は。

**答** NPO法人の性格も十分理解していただいた上で、強制がないよう担当課長から指導させます。